

京都大学総合人間学部オープンキャンパス2016

オープンキャンパス学生スタッフ

代表 吉川 幹人

副代表 石田 沙織

総合人間学部のオープンキャンパスでは、教員や大学職員の方に加え、学生の有志もスタッフとして運営をお手伝いしています。「何を勉強するところなの？」とよく聞かれる総合人間学部ですが、来場者のみなさんにとって学生の”生の声“を聞ける機会にしようというのがこのイベントの目的です。当日は、1日を通して受験生や保護者の皆さんでにぎわっていました。このオープンキャンパスが、みなさんが総合人間学部を知る一つのきっかけとなっていれば幸いです。

さて、今年度のコンテンツは例年同様

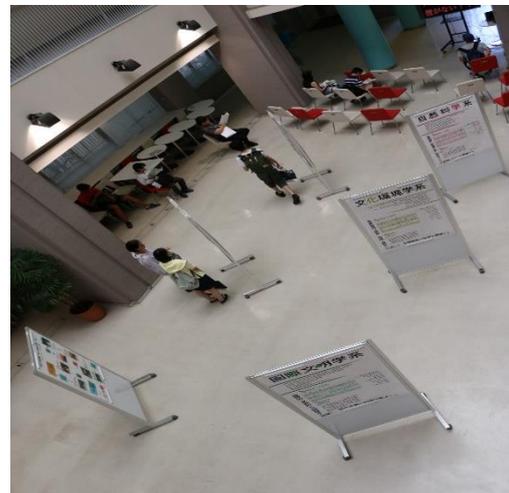
1. 展示パネル、学部紹介ビデオ
2. 相談コーナー
3. 模擬講義、学部説明会
4. 研究室公開
5. 学生企画
6. 学生プレゼン
7. 打ち上げ

でした。順番に振り返ってみたいと思います。



1. 展示パネル、学部紹介ビデオ

展示パネルと学部紹介ビデオはすべて学生が作成したものです。学部紹介ビデオは1回生が主体となって作成してくれました。パネルでは、学系ごとの学生の時間割や将来設計についてや、新入生歓迎合宿の様子など、総人をより身近に感じてもらえるような情報を展示しました。当日は高校生だけではなく保護者の方にも目を通していただけたようです。



2. 相談コーナー

好評につき毎年開催している学生による相談コーナー。学生同士だからこそ話しやすい雰囲気、今年も大盛況でした。「受験勉強について」「大学生活について」「総合人間学部について」など、質問内容は様々でしたが、どのブースでも楽しそうな、そして真剣なやりとりが見られました。相談を受ける側であった私たちも、高校生のパワーにふれ、いい刺激をもらうことができました。



3. 模擬授業、学部説明会

午前と午後の2回、模擬授業と学部説明会が普段から講義に使われている教室で行われました。どちらの時間もたくさんの学生で席が埋まり、真剣に教授の話をきいていました。受験生のみなさんは、総人の学生が普段どのような講義を受けているのかを知るいい機会になったのではないのでしょうか。

4. 研究室公開

総合人間学部の5つの学系から合計16の研究室が3回に分けて公開されました。参加者の皆さんはそれぞれ興味のある研究室を訪れ、教授から専門的な話を聞いたり、実際にその研究室に所属していた学生が書いた卒業論文を見たりしていました。自分が将来、大学でどんな研究をするのか、イメージが明確になったり、選択肢が広がったりしたのではないのでしょうか。



5. 学生企画

お昼の時間帯に総合人間学部棟前の通称「総人広場」で京都大学のサークルにパフォーマンスをしていただくこの企画。今年も、前年と同じく、ダブルダッチサークルのMTTRさん、よさこいサークルの彩京前線さんが出演してくれました。暑い中でしたが、多くの人が足をとめて観覧下さり、とても盛り上がりました。



6. 学生プレゼン

現役の総人人生によるプレゼンです。今年は2人の学生(学部4回生・修士2回生)が、この学部を目指したきっかけや受験生時代のこと、現在の学生生活のことなどを高校生に話してくれました。総合人間学部に関してなんでもアリで高校生から質問を募集してみたり、高校生も一緒に作業しながら自分のこれからについて考えたりと、笑い声の多い和やかな雰囲気の中プレゼンは進み、立ち見が出るほどの人気ぶりでした。



7. 打ち上げ(おまけ)

オープンキャンパスの後には、毎年打ち上げが行われます。学生だけでなく、教授の皆さん、大学職員の方々が参加します。このように学部で一丸となってイベントを行っていくのは総合人間学部独特で、とても素敵なおまけです。

最後に…

今年のオープンキャンパスはいかがだったでしょうか。参加できなかった方も、この報告をご覧ください。当日の雰囲気を味わうことができたでしょうか。参加していただいた方や、この報告を読んでくれた方が、京都大学ひいては総合人間学部に興味をもってくださいましたら、実行委員としてこれほど嬉しいことはありません。

もし、総合人間学部制になったら、今度はぜひスタッフとしてこのオープンキャンパスに参加してみてください。私たちと一緒にますます学部を盛り上げていきましょう！

楽しみに待っています。

